

事業番号	04 01 04	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	後期高齢者医療給付事業費			担当課	部局	健康福祉部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	健康福祉部	
	施策の総合的展開	6-1	健康で長生きできる地域づくり	E-mail	健康福祉政策課	
		4	医療施策の充実		kokuho@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H20 ~	

1 事業の概要

目指す姿	高齢期における適切な医療を確保し、健康の保持と高齢者の福祉の増進を図る。				
現状	<p>県民の高齢期における適切な医療の確保を図るため、長野県後期高齢者医療広域連合（県内全市町村で構成）が行う後期高齢者医療制度の運営に要する経費について、所要額を負担し、制度の適切かつ円滑な運用を図っている。</p> <p>なお、高齢化の進展、高度な医療の普及等による医療費の増大が見込まれる中で、高齢者医療制度については、社会保障制度改革国民会議において検討し、結論を得ることとされている。</p>				
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		<input checked="" type="checkbox"/> 左記の説明、根拠法令等 高齢者の医療の確保に関する法律		
事業内容	① 成果目標(H24)				
	高齢期における適切な医療を確保し、健康の保持と高齢者の福祉の増進を図る。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績		H25
			(当初)	(決算)	(当初)
	後期高齢者医療給付費県費負担金	負担金	後期高齢者の医療給付費の一部を助成する経費に対する負担(負担率:県医療給付費の1/12)	18,816,814	18,553,257
後期高齢者医療保険基盤安定事業負担金	負担金	低所得者や被用者保険の被扶養者であった者等の保険料軽減に対し助成する経費に対する負担(負担率:県3/4)	3,163,122	3,184,948	3,257,276
後期高齢者医療高額医療費負担金	負担金	制度開始前3年間の一人当たり医療費が一定以上低く乖離していた市町村に対する保険料軽減に対し助成			
		高額療養費について、レセプト1件当たり80万円を超える額のうち、保険料で賄うべき部分の1/2を助成する経費に対する負担(負担率:県1/4)	896,801	967,166	973,630
後期高齢医療財政安定化基金	交付金 貸付金 積立金	県・国・広域連合による基金積立に対する拠出等(拠出割合:県1/3) 広域連合に対する見込み以上の保険料未納や給付増に対する貸付・交付及び保険料上昇抑制に対する交付(基金から貸付・交付)	1,338,192	671,942	2,004,654
後期高齢者医療審査会経費等		後期高齢者医療の審査請求に係る審査を行う審査会の経費に対する負担等	2,612	853	2,127
		合計	24,217,541	23,378,166	25,221,951

事業 コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	21,981,325	23,202,416	24,217,541	25,221,951
	補正予算	148,859	-68,004	-686,346	
	合計(A)	22,130,184	23,134,412	23,531,195	25,221,951
	国庫支出金	117,717	117,717	223,689	223,690
県債					
その他(繰入金)	440,488	419,737	224,573	1,557,274	
一般財源	21,571,979	22,596,958	23,082,933	23,440,987	
決算額(B)	22,021,011	22,673,842	23,378,166		
概算職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
概算人件費	8,317	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	22,029,328	22,682,100	23,386,424	25,230,209	

目標に対する成果の状況	高齢期における適切な医療を確保できるよう、療養の給付等に要する費用の一部を負担し、後期高齢者医療制度の安定的運営を支援することができた。				
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施				
今後、事業をどのようにしていきたいか。	高齢期における適切な医療を確保できるよう、療養の給付等に要する費用の一部を負担し、後期高齢者医療制度の安定的運営を支援していく。 なお、社会保障制度改革国民会議における高齢者医療制度の検討の行方を注視していく。				